

現
状

今日的環境問題の本質的な要因

大量生産・大量消費・大量廃棄
を基本とした社会経済システム

- ▶ ゴミ処理に係る環境負荷と費用の低減が大きな課題
- ▶ 持続可能な循環型のゴミ処理体系への転換が必要

人々の意識や価値観、ライフスタイル、
経済活動のあり方の転換

概ね20年間

県民、事業者、行政の連携と協働
ゴミを資源と捉えた地域づくりの展開

目
標

ゴミゼロ社会の実現

「ゴミゼロ社会」とは、「ゴミを出さない生活
様式」や「ゴミが出にくい事業活動」が定着
し、ゴミの発生・排出が極力抑制され、排出
された不用物は最大限資源として有効利用さ
れる社会

ゴミゼロ社会実現プログラム(平成16~18年度)

《住民・事業者・市町村との協働のもとに、ゴミの減量化に向けた具体的な将来像と道筋を明らかにし「ゴミゼロ社会」実現のための取組を進める》

H16 年度

【取組方向】
協働の
素地づくり

【予算額】
57,139 千円

ゴミゼロ社会実現プラン 策定体制

【策定主体】

ゴミゼロ社会実現プラン策定委員会

- ・ 県民
- ・ 事業者
- ・ 市町村
- ・ 県
- ・ 学識経験者(コーディネーター)

【補完組織】

アドバイザー会議

- ・ 有識者、専門家
- ・ NPO、住民組織
- ・ 企業担当者
- ・ 県民
- ・ 市町村

行政連絡会議

- ※県民局毎に設置
- ・ 市町村担当課
- ・ 県民局関係チーム

県庁内ワーキング

ゴミゼロ宣言

県民の理解と参画の促進及びプラン策定
に係る基礎データ収集のための取組

《ゴミゼロワークショップ》

県民に対して、ゴミ減量化の取組について、ワークショッ
プ形式により考え学ぶ機会を提供し、

- ・ ゴミゼロ実現に向けた気運醸成、意見収集
- ・ ゴミゼロ社会実現プランに対する理解促進
- ・ 住民主体の取組促進(アイデアの収集) などを図る。
また、家庭や職場でゴミ減量化に取り組む契機としてもら
う。

《ゴミゼロ談義》

ゴミゼロ社会実現に向け、広く県民や
事業者の意見を収集するとともに、ゴミゼ
ロの取組に関する理解を深めてもらう。

《ゴミゼロ政策研修会》

有識者等に、ゴミ減量化手法に関する
研究成果や実践活動から得たノウハウな
どを提供してもらうことにより、これからのご
み政策のあり方や方向性について学ぶ。

《ゴミ減量化等に関する調査研究》

- ・ 県民・事業者意識調査
- ・ 一般廃棄物(事業系・家庭系)実態調査
- ・ 減量化手法導入可能性調査
- ・ エネルギー活用可能性調査
- ・ 先進事例調査

《啓発活動・PR等》

- ・ ゴミゼロ推進フォーラムの開催
- ・ 啓発用ポスターの作成

H17・18 年度

【取組方向】
県全域での
展開に向けて

ゴミゼロ社会
実現プラン

提案

モデル事業

実施

成果

評価

効果・課題

フィードバック、反映